

ゆいのき

三二

速報版 34

R2.12.25

室田和宏

今回は、校長先生から児童のみなさんへのミッションです

「あいさつ名人になって2021年をむかえよう!!」

2020年、みなさんは、あいさつ運動^{うんどう}をとてがんばり、あいさつの点数^{てんすう}が77点からなんと、87点に！みんなで力を合わせて10ポイントもよくなりました。“ほぼあいさつ名人^{めいじん}”です。せっかくですから、この冬休み^{ふゆやす}におうちの人や地域^{ちいき}の人とたくさんあいさつをして、全員^{ぜんいん}が“ほんとうのあいさつ名人”になりましょう。コツは、まごころこめて“ア・イ・ス”です。

アいての顔^{かお}を見て いつも スまいる

そして、2021年がスタートしたら「あいさつ^{かべ}の壁」のミッション^{とっぱ}を突破して、つぎの「〇〇の壁^{かべ}」に向かってみんなでチャレンジしましょう。

＜保護者の皆様へ＞

最後の朝会で、「あいさつをみんなができるようになったらもうあいさつ運動は必要ないよね。ミッションクリアしてあいさつ運動に使っていた時間を、みなさんが自由に使える時間にしよう。」と話しました。冬休みを利用して、お子様とたくさんあいさつを交わしてください。そして学校に来る時に、下の欄に評価を記入して担任まで戻してください。あいさつ運動に本当に頑張っ取り組んできた総仕上げは、ぜひご家庭で。

2021年のスタート、子どもたちが“ほんとうのあいさつ名人”により近づいて学校に戻ってきたら、思いっきり賞賛しようと思います。ご協力をお願い致します。冬

() 年 () 組 お子様の名前 ()

○お子さんのあいさつが、冬休みのあいだに・・・

① よくなった

② まあよくなった

③ あまりよくなる

④ よくなる

--	--	--

ゆいのき ミニ

速報版 36

R3.1.18

室田和宏

おはタイ大作戦！！

ご家庭での「あいさつ総仕上げ」へのご協力ありがとうございました。一人一人の挨拶が一段とグレードアップしました。「あまり上手にならなかった」という回答も若干名いただきましたが、その子たちの中にも、とても立派なあいさつができる子もいます。ご家庭で話したことがきちんと伝わっている証だと思います。「言っても変わらないんです。」と相談を受けることがよくありました。分かっているけれども、すぐに行動に表さない。少したって忘れたところに思い立ったように動き出す・・・なんてことも良くあることです。“大切なことをしつこく言い続ける”も時には必要ですね。というわけで、あいさつ運動の一区切りで生み出した時間を、約束通り、子どもたちが考え自由に使える時間を設定したいと思います。

- 1 活動名 「おはようタイムを大切にしよう（おはタイ）大作戦」
- 2 活動日 月曜から金曜日（2月1日～26日）
- 3 活動時間 登校後～8：10 **※絶対に集合を早めたり、登校を急いだりしないこと！**
- 4 活動内容 これまでのボランティア活動や図書の貸し出しに加え、**外で遊んでも良いこと**にする。
- 5 約束は・・・

各クラスで「朝を自由な時間にして外に遊びに行くためには、みんなが困らないように、約束ごとを決めておく必要があるそう。おはようタイムを良いものにするためにどんなことに気を付けたらいいかな？」と話し合いを始めています。約束事も自分たちで決めて、自分たちで守っていけるようにしたいと思います。

<<感染経路を自分が断つ！>> くらいの気持ちで手洗いを>>

「感染源にならないように、感染経路にならないように、手洗い、マスクを徹底するよう職員に改めて周知を。」との通知が来ました。理解するまでに少し時間がかかってしまいました。感染経路に？！自分が感染しているかもしれないと想定してマスクと手洗い。他人に感染させないように注意して行動することでしょう。学校では、「休み時間や登下校の際にも必ずマスクを着用するように。」と指導しました。放課後の生活においても同様です。しかし、繰り返しになりますが、どんなに気を付けていても、感染してしまうリスクをゼロにはできません。ウイルスに苦しめられている人を偏見や差別でさらに苦しめるようなことは、決してあってはならないことです。

★ 体罰相談ダイヤル ★

2月3日(水)～4日(木)は電話相談日

本校では体罰の根絶に取り組んでいます。万一体罰や不適切な指導があったと認識されたときには、上記の期間に限らず、いつでも学校までご連絡ください。校長、副校長が随時ご相談にあたります。連絡先は以下の通りです。

城山中央小学校 652-0036 担当：副校長

ゆいのき ミニ

速報版 37

R3.1.25

室田和宏

マスクの話（久しぶりに・・・）

学校が再開したころ、「大変です。マスクが落ちています・・・」と報告してくれた子がいたと紹介したことがありました。1月に学校がスタートした頃、校庭やまごころ広場でマスクが落ちているのをよく見かけようになり、「マスクが当たり前になり警戒心も薄れてきたかなあ？」などと考えていました。そんなある日、校庭で落ちているマスクを拾おうとすると、ある児童が昇降口からさっと走り、引き返してきて「先生すいません！それ友達のだと思うので、僕が渡しておきます。」と受け取り、届けてくれました。また、別の日にはある児童がまごころハウスに荷物を取りに行き、下校班の仲間は戻りを待っていました。戻ってくると「ごめんなさい、おまたせしました。」と言いながらぺこりと仲間たちに頭を下げ、待っていた子たちも、にっこり微笑んで何事もなかったように下校していきました。

また、掃除の時間に、高いところのほこりをふきながら雑巾を片手に階段を歩いていると、一人の児童が、「ありがとうございます。」と。そして別の時に、とても丁寧な掃除をしているので「ありがとうね」と声をかけると「いいえー」と返ってきました。（当たり前のことをしているだけなのに・・・といった表情で。）本当に何気ない出来事ですが、「物事を自分事ととらえて動き出す“主体性”」の芽が育っているのを感じました。『〇〇のせいで』とか『◇◇が△△してくれないから・・・』と他人のせいにする風潮が（大人の世界で）よく問題提起されますが、それとは対極にある、このような小さな芽を大切に、主体性を育てていきたいものです。

森野先生の離任式！

4月から本校で図書館司書を務めていた森野先生の離任式を行いました。児童からの信頼も厚く、代表の　　さんからのお別れの言葉では「先生のおかげで必読書パーフェクト賞を達成することができました・・・」と感謝のコメントがありました。また、児童を代表して　　さんから花束の贈呈がありました。新しい場所での活躍をお祈りします。



いつもありがとうございます！



本校の、まごころサポーターさんが、栃木県警察本部、および栃木県交通安全協会より表彰されました。

長年にわたり、毎日毎日子どもたちの安全を見守ってくださっている功績が認められました。おめでとうございます。コロナ禍で例年通りの盛大な表彰式は実施できないため、本校の校長室に鈴木リーダーにお越しいただき、伝達式をしました。1年で最も寒い時期

を迎えています。氷点下の朝が続いています。指先は凍り付くようです。子どもたちの安全のために、毎日毎日、ボランティアで登校の見守りをしていただいている皆さんには、本当に頭が下がります。児童の皆さん、保護者の皆様、是非この機会に、感謝の気持ちを言葉にして直接お伝えしましょう。

ゆいのき ミニ

速報版 38

R3.2.3

室田和宏

おはようタイムを大切にしよう（おはタイ）大作戦

おはようタイムを大切にしよう（おはタイ）大作戦が2月1日からスタートしました。月曜日は冷え込みの厳しい朝で、グラウンドの土は凍って固くなっていましたが、朝の準備を終えた子どもたちが続々と校庭に飛び出して来ました。「朝の準備はちゃんとしたの?」「はい!」「宿題はちゃんと提出したのかな?」「はい!」笑顔で返事が返ってくるので、こちらも朝から元気が良くなり、心と体がぽかぽかとしてきます。ある6年生には「ありがとう、君たちが先頭に立って引っ張ってくれたからこんな楽しい時間がとれたんだ。先生が子どもころの学校を思い出すよ。」とお礼をいいました。

朝会では「挨拶だけではこの時間は獲得できなかったはず。休み時間に安全に決まりを守って生活している姿、困っている下級生に声をかける思いやりのある姿。先生方の信頼を得ることができた皆さんだから実現できたこと。」という話をしました。1か月間、取り組んでみたいと思います。ご家庭でも①あわてて登校班の集合時刻を早めたり、急いで歩いたりしないこと。②体の調子が悪い時には教室で静かに過ごすようにすること。について、良く話をしてください。学校じゅうに「おはよう」という声が飛び交うようなひとときになったらいいなあと思っています。

そして、・・・次の記事へ続く・・・



「正しく恐れる」ということ

朝会の話の続きです。「・・・君たちが『思いやり』を発揮するべき時はまさにコロナ禍の今です。戦う相手はコロナウイルスであり、ひとではない。お互いに思いやりの心で、正しく認識しないと思わぬ差別や偏見につながってしまう。まさにまごころ日本一の城央小が目指す姿です。」

日本教育新聞に裏面のような記事を見つけました。まさに「正しく恐れること」の大切さを再認識しました。歴史を振り返ってみても、いまだに残る差別問題は「正しく知らないこと」や「先入観」「確かでない噂」等に起因することが多くあります。

さっそく滋賀県教育委員会から資料を取り寄せ、本校の実態に合わせて各クラスで指導することにしました。すでに家族会議の話題にしてくださっている話もお聞きます。栃木県は緊急事態宣言も解除されそうです。今一度気持ちを引き締め、「まごころ日本一」のあたたかい心でコロナ禍を乗り越えていきましょう。

身近なところで感染が・・・ということが起こり得る状況が今後も続きます。お困りのことがありましたら、遠慮なくご相談ください。なお、情報の開示につきましてはご本人の意向を最大限に尊重いたしますので、ご安心ください。